

ダイヤモンドは何かですか？

ダイヤモンド道

—EAVのドクター・フォルと
意識指数のデヴィッド・R・ホーキング博士に
敬意を表して—

田村(・タカ)熾鴻
(本名・富保)



完璧なカットが世界で初めて完成 (1985年10月)
次々と起こる七つの不思議
誘われた世界は、霊的世界、意識界
学んでみれば、鉱物にも意識あり
そして今、人の心身を完璧に調整し、癒し、尚
意識を高めるエネルギーとなったダイヤモンド
エイトスター
そんなダイヤモンドと人との関係を
研究するのが、ダイヤモンド道。

今回のダイヤモンド道を書く気になったのは、9月10日のこの記事がきっかけだった。

「元男子バレーボール日本代表の^{たにむらこう}谷村孝さんが2017年9月3日、死去した。35歳だった。」

現役時代に所属していた「Vリーグ」のパナソニック・パンサーズの広報担当者などによれば、死因は心筋梗塞という。突然の訃報に、インターネット上では「信じられない」「早すぎます」といった驚きや悲しみの声が広がっている。

福岡県出身。中央大学を卒業後、2005年にパンサーズに入団。本職のウィングスパイカーだけでなく、高い守備力を買われリベロのポジションも務めた。2016年の現役引退まで11シーズンにわたり活躍し、4度のリーグ優勝に貢献した。2004年、2008年

には全日本代表チームにも選ばれている。

谷村さんを高校時代に指導し、6日に行われた葬儀では弔辞を読んだという母校・福岡大附属大濠高校男子バレー部顧問の大賀俊信さん（55）は7日のJ-CASTニュースの取材に、

「病気で入院していた訳でもなく、本当に突然の訃報でした。自宅で突然、倒れたと聞いています。ただただ驚いていますし、本当に残念です」と話した。

今回の訃報を受け、ツイッターには谷村さんの現役時代を知るファンを中心に、「早すぎます。悲しいです。心よりご冥福をお祈りいたします」

「いぶし銀のプレーとキャプテンシーは忘れられません ご冥福をお祈りします」

「オールラウンダーで、代表でもチームでも頼れる素晴らしい選手でした」

「コートの外でも中でも、いつも皆んなに声かけして、そして、コートをよく駆け回ってましたね まだまだ信じられない」といった追悼の声が数多く出ている。

■清水邦広「こんなに悲しい事はない」

谷村さんとパンサーズで7年間チームメートだった、男子バレー日本代表の清水邦広選手（31）は5日のツイッターで、「偉大な先輩が35歳という若さで永眠しました。パナソニックでも代表でも栄光を築き上げた偉大な先輩。一緒に旅行したり飲んでバカやって笑ったり辛いときも一緒に乗り越えてきた。優しい先輩でもあって仲間だったし家族だった」とコメント。その上で、「こんなに悲しい事はないです。ご冥福をお祈りいたします」とツイートを結んでいる。（記事以上より）

35歳、輝かしい人生の真っ只中。しかも、突然。どうして？ 元気の象徴のスポーツ選手が！

この数ヶ月、120歳まで生きよう……、会を立ち上げて一年あまり経った時に、フッと気が付いたことがあった。長生きの為の9の法則。目が行くのは、最後の9段階目の2304という数字。夜11時4分までに寝ること。ここは、9の法則のマイナスになることを理解させやすいし、とても分かりやすいし、オーバーしている人が沢山いるから、そこに照準を合わせて、その時間をオーバー

したら、あるはずの120歳までの生命から引き算されているんだよって言ってきました。

同じように、目立たないけど、呼吸数・脈拍に当てはめたら、オーバーした分、呼吸数・脈拍も同じなんだけどなあって思い始めた時、今こそスポーツ選手たちにエイトスター・ダイヤモンドを持ってもらうべきだ、って思っていたのです。

神が人間に与えた9の法則		
1	9	9つの穴で人の営みが完成
2	18	一分間の呼吸数
3	36	体温
4	72	一分間の脈拍
5	144	血圧上限
6	288	とつきようか 出産予定日
7	576	五臓六腑に七つのチャクラ
8	1152	11時52分 昼寝
9	2304	23時04分 夜寝る時間

スポーツ選手は、練習時から、呼吸数上限18。脈拍上限72を大幅に日々越えた生活をしていると思えた。優秀選手になればなるほど、その上限を日々オーバーした生活をしている。そのオーバー分が120歳の生命から日々引き算にされている、としたら…。だから、スポーツ選手は、長生きの人が少ないんじゃないか……。特に、陸上競技の400メートル・800メートル選手たちなど、ゴールした後に倒れて過呼吸状態の選手をよく見ます。呼吸18、脈拍は72から、どれだけ超えているのか……。

今回の記事の谷村氏は、バレーボール選手。小さいコートを緩急つけて走り回っていたトップ選手。溜まっていたんだね、引き算分が……。そして、突然の心筋梗塞。私の場合は、喘息。鼓動は、早く脈打っていた。そして、突然の心筋梗塞。私の心臓が激しく鼓動する時は、喘息が発症した時だけ。スポーツ選手は、練習をすればするほど、試合をすればするほど、どれだけ生命を引き算していたか……。

そのオーバー分の引き算をゼロにする為に、地中に置いたダイヤモンドの完璧なカットを通った光の気が大事なんじゃないだろうか。練習すればするほど、活躍すればするほどに、生命を縮めている。その引き算分をチャラにすると思える、光の気。試したいよ。スポーツをやっている人には、特別価格でも、とにかく持っていただきたい。そしてデータを取ってみたい。何故なら、何よりもブレッシングワン・ダイヤモンドは、スポーツ選手に絶対必要な体幹が整う。脊椎に光の柱が立って神に繋がる。元々、体幹を整えることはすべてのスポーツ選手の必須なのだから。

写真の上に置くことでも遠隔でサポート出来るエイトスター。

ファンが個人的に選手たちを応援するキャンペーンも良いかもしれません。谷村選手の記事を読んで、スポーツ選手を守るアイデアにつながったわけです。これは、他の為に生きる崇高な意識のなせること！意識の指数を研究しているからこそ閃いた秘策！さらに応援する人の3年間の成果を確認した後ならば、いつでも自分のダイヤモンドに、変更可能！あなたは、誰のブレッシングワンを持って、応援したいですか？

9月30日・10月1日放映されたNHKスペシャル『シリーズ人体・神秘の巨大ネットワーク』、‘プロローグ’と‘腎臓が寿命を決める’を観られましたか？ 来年の3月まで毎月1回ずつ全八話が放映されますが、驚きましたね。

人体は、すべて脳の指令で各臓器が働いている、と教えられて来ましたが、まさかまさかの科学の進歩。各臓器同士が連絡し合って、健康の為、病いの改善に努めているという内容でした。

第一集の腎臓編では、腎臓が体中に情報を発信しながら、さまざまな臓器の動きをコントロールしているという驚きの姿が明かされました。腎臓を操れば、脳卒中や心筋梗塞の原因となる重症の高血圧を一挙に改善したり、多臓器不全を未然に防いだりという驚きの成果も報告されている。

観ながら、吾が心・意識はずっと思い続けていました。子供と大人では、気的には大きな違いがある。自然治癒力・治癒力100%の子供 = EAV オール50

の臓器同士の会話と、気が高くなったり、病いになった大人の臓器の会話は、絶対大きな違いがあるだろうなあ、と……。それが高じて、一人空想に浸っていました。エイトスターを持った瞬間、まず

腎臓から全臓器へ。「おいみんな、なんか体中の気が変わってきて、情報の交換がやりやすくなってるぞ」。

全臓器からは、「そうだね、情報の伝わり方、軽くなったよね。これからお互いに楽になりそうだね」。

蒸留水を飲んだ後の会話。

腎臓から、「お〜い、なんか入ってくる水が変わったみたいで情報がクリアーになっているけど、どうだい？」。

肝臓応えて、「そうなんだよ、自分が働かなくても、勝手に不必要なモノが出て行っちゃうんだよね。なんか凄い水じゃない……!! 俺、疲れないよ!!」。

さらに、腎臓から肝臓へ、「おうい、肝臓さん！ 最近完全な水にならないままアルコール分の残った水が送られて来るけど、大丈夫かい!？」

肝臓から、「ごめんよ!! とにかく消化酵素を沢山使うアルコールが次から次と入って来るので消化が出来切れなくて疲れちゃってね！ せめてアルコールと一緒に消化酵素を摂ってくれるか、消化分解酵素を使わなくてすむ焼酎、ウイスキー、ブランデーなどの蒸留酒を飲んでくれたなら助かるんだけど、もう疲れたよ……!!」

「頑張れよ、肝ちゃん!!」と腎臓がエール。

そんな腎臓から、またまた、「最近さ、俺らの親分（身体さん）の食べるもの変わってきてない？ 一生懸命働かなくても、消化・吸収していくんだよね。消化しにくい調味料やヘンテコな化学毒が入ってこないし、腸さん、楽になってないかい？」

「そうなんだよ。肉でも消化しやすいんだよ」と腸さん。

身体さんからは、「そりゃ、そうだよ。食べるものも、自然のものにしているし、EAV って器具で測った気の最高のものを食べてるんだからね！」。

これ、私だね。

またまた、腎臓から、「今日、身体がさあ、凄い話お客さんとしていたよ。水だけだね、俺達を疲れさせる活性酸素を消してくれる、今までにない水素水が出来ていて、身体がさあ、その製造・販売に関わるように誘われていたよ」。

身体から、「おいおい、腎臓さん、まだまだ早いよ。確かに、完全に体内で働く水素水の話は、相談されたよ。でも、すでに、マグネシウムを固めた水素水発生棒を紹介しているんだから、まだまだ秘密だよ。毎日、身体に入っていく水はすでに水素化された水なんだぜ。それよりも凄い、という証明付きの水を飲んだ時には、また全臓器に教えてよね」。

こんな会話が体内でされているかどうかは、分からないけど、こんなに細かいことまで映像をもって会話が解明されたならば、オール50の肉体の中だと、50以外の身体の中での臓器同士の会話は、凄い違いがあるんじゃないかなあ、と思ったのです。そして、その研究をしている所にダイヤモンドをお貸しして、その違いを研究してほしい。出来たら素晴らしい。そういう時が来たんだと半ば確信しながら番組を見続けていたのです。そこで、提案です。

こうした研究の最前線に居られる研究者をご存じありませんか？

もし居られましたら、繋いでほしいのです。ダイヤモンドを提供して、普通のままでの体内会話と、気の子供の状態に調整する光の気が起す体内会話との違いを研究していただきたい。

その前に、大人（使い続けた）と子供の臓器同士の会話の違いを知りたい。もしかしたら、スペシャル番組の残りの6話で明かされるかもしれません。その時、エイトスターの価値・オール50（子供の気）の価値・エイトスターが進めているモノ達の価値、などなど、明らかになったら、素晴らしい新時代がやってくること間違いなし。

そんなことを感じて、長生きの出来る訳ないと思っていた私が、魂の完成の為にという目標を掲げて、120歳まで生きよう……!! 会を立ち上げたわけです。その具体例・目標の中に、9の法則の全ての項目が、正常体の為に重要なことなので心して人生を重ねていきましょう!!!

そうだ。腎臓と言えば、一倉定先生だ。卵醬だ。すべての体調不良は、それで正常化するって。腎臓を正常にする方法を21年前、授けられていた。

2度救われていた。先生の言った通り、腎臓には糸球筋という管状の筋肉が球のようにまとめられてあり、その側面に小さな穴が沢山空いていて、この穴から水分-詰まり尿を出し、輸尿管を通過して膀胱に運ばれる。塩分が少なくなると、糸球筋がフヤケて筋肉の側面にある小穴をふさぎ、水を通さなくなると、排尿不能になれば、一大事。そこに、自然治癒力が働いて、血管壁から水分を体内のもっとも安全に貯められる所に出す。これがムクミ。その原因が塩分不足。
(一倉定著『生食と人体』到知出版 参照)

今年9月、プチ断食で動けなくなった。原因は、塩不足！1996年にやったことを繰り返していた。腎臓の正常化の塩分補給の決め技が、**卵醬**。塩分不足のサインは、手の平に出る汗。その時に、卵醬によって不足を補う。

9の法則の補助編。9の十分の一の0.9。実は、血中塩分濃度は、0.9パーセントで自動的に調整されている。ホメオスタシス（恒常性）。身体に、塩分が入って来ないと、血中水分が多く、0.9に調整して水分を外に出す。それが手の平の汗。塩分の少ない印。濃い目の味噌汁を取っていけば、水分を取り入れ正常な血液になる。それが寿命の元。さらに、出産後のオッパイ量の元。出ない人は塩分不足。

その緊急補給法が卵醬。生卵を器に空け、殻の半分一杯に醤油を入れ、混ぜて飲む。何日続けても大丈夫。正常になると、飲みたくなくなる。一倉先生、ご存じだった。生命の中心の、寿命さえ決めていた大事だったことを……！

いま、**科学の力で証明された**。塩分が不足した身体の中では、それぞれの臓器同士が、会話交わして、体調コントロールしているのだろう。

ダイヤモンドの気と塩分に対する知識と実践。元気な源ですね。

NHKの3月までの特集、お見逃しないように……。